

## 令和5年度施行 特別区職員 Ⅲ類採用試験【No.22】解説

**\*POINT\*** 資料の問題では、正誤判定にどの数値を使ってどんな計算をすればよいかを素早く判断することにかかっている。また、「量」なのか「率」なのか、「元」になる量は何なのかを間違えないことが重要である。

1. 2018年の「林産物」の輸入額を100としたときの2021年のその指標は、120を下回っている。

## 農林水産物の輸入額の対前年増加率の推移(%)

区分	2017年	2018	2019	2020	2021
農産物	10.3	3.1	△0.4	△5.8	13.3
<b>林産物</b>	4.4	<b>7.1</b>	<b>△5.7</b>	<b>2.9</b>	<b>25.3</b>
水産物	11.1	0.9	△2.8	△15.8	9.9

2018年を元に2021年の指標を計算すると、

$$100 \times (1 - 0.057) \times (1 + 0.029) \times (1 + 0.253) \\ = 121.5 \cdots$$

となるので、「誤り」。

概算すると、  
 $100 - 5.7 + 2.9 + 25.3 = 122.5$   
 となるが、ざっくりとしきりでいる感じがする。信頼度はあまり高くなかなあ。

2. 「林産物」の輸入額の2017年に対する2021年の増加率は、「農産物」の輸入額のそれの3倍より大きい。

区分	2017年	2018	2019	2020	2021
農産物	<b>10.3</b>	<b>3.1</b>	<b>△0.4</b>	<b>△5.8</b>	<b>13.3</b>
<b>林産物</b>	<b>4.4</b>	<b>7.1</b>	<b>△5.7</b>	<b>2.9</b>	<b>25.3</b>
水産物	11.1	0.9	△2.8	△15.8	9.9

2017年に対する2021年の増加率を計算すると、

$$\text{林産物} : 100 \times (1 + 0.071) \times (1 - 0.057) \times (1 + 0.029) \times (1 + 0.253) = 130.2 \cdots$$

$$\text{農産物} : 100 \times (1 + 0.031) \times (1 - 0.004) \times (1 - 0.058) \times (1 + 0.133) = 109.5 \cdots$$

林産物の増加率は30を超えており、農産物の増加率を3倍しても30未満なので、「正しい」。

3. 表中の各年のうち、「農産物」の輸入額が最も多いのは、2018年である。

区分	2017年	2018	2019	2020	2021
農産物	<b>10.3</b>	<b>3.1</b>	<b>△0.4</b>	<b>△5.8</b>	<b>13.3</b>
林産物	4.4	7.1	△5.7	2.9	25.3
水産物	11.1	0.9	△2.8	△15.8	9.9

2017年を100(元)にして概算で比較してみよう。

2017年: **100**

2018年:  $100 + 3.1 = 103.1$

2019年:  $103.1 - 0.4 = 102.7$

2020年:  $102.7 - 5.8 = 96.9$

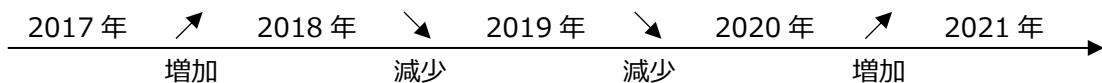
2021年:  $96.9 + 13.3 = 110.2$

「農産物」の輸入額が最も多いのは2021年なので、「誤り」。

概算ではあるが、2021年と他の年との差が大きいので、これが最大として問題なさそうだ。

2017年が2018年より少ないので、2018年を100(元)にすると、さらに簡単になる。

また、上ではすべての年の値を求めたが、増減を考えると次のようになる。



したがって、最も多いのは 2018 年か 2021 年のどちらかなのでこの 2 つを比較するだけでよい。

2018 年を 100 (元) にすると 2021 年は概算で、

$$100 - 0.4 - 5.8 + 13.3 = 107.1$$

となり、2021 年のほうが多いといえる。

4. 2021 年の「水産物」の輸入額は、2018 年のその 90% を超えている。

区分	2017 年	2018	2019	2020	2021
農産物	10.3	3.1	△0.4	△5.8	13.3
林産物	4.4	7.1	△5.7	2.9	25.3
水産物	11.1	0.9	△2.8	△15.8	9.9

2018 年を 100 として 2021 年を計算してみると、

$$100 \times (1 - 0.028) \times (1 - 0.158) \times (1 + 0.099) = 89.9 \cdots$$

となり、90% を下回っているので、「誤り」。

5. 2019 年において、「水産物」の輸入額の対前年減少額は、「林産物」の輸入額のそれを上回っている。

区分	2017 年	2018	2019	2020	2021
農産物	10.3	3.1	△0.4	△5.8	13.3
林産物	4.4	7.1	△5.7	2.9	25.3
水産物	11.1	0.9	△2.8	△15.8	9.9

この表は、農林水産物の輸入額の対前年増加率 (%) を示したものなので、それぞれの「額」については比較できない。したがって、「誤り」。